

## 市立学校の働き方改革

# 東久留米市教育委員会では「教員」のより働きやすい環境づくりを目指します



国による「働き方改革」が推進され、公立小・中学校の教員の長時間に及ぶ勤務の実態が大きく取り上げられるようになり、「学校における働き方改革」はまったなしの課題です。教員の勤務実態調査（2016年度）（文部科学省実施）によると、教員の半数以上が適当なりの在校時間が60時間を超える、いわゆる「過労死ライン」を超えて勤務していることが分かりました。東久留米市教育委員会では昨年の10月に、「東久留米市立学校教員の働き方改革実施計画」を策定し、今年度から具体的に教員が働きやすい環境整備を行ってまいります。「学校における働き方改革」では、教員自らが勤務のあり方を意識し、改善していってもらうことが重要ですが、それには保護者や地域の方々をはじめ、学校を取り巻く周囲の理解がとて大切であると考えています。

今号では本市の教員の勤務実態を中学校の教員の一日をモデルにお伝えし、今後の市の取り組みなどを紹介します。

## 保護者の皆様、市民の皆様のご理解とご協力をお願いします

### 公立学校の教員は忙しいのが当たり前？

「教員」はどれくらい忙しい？

時間、学校に在るの？  
平成29年11月、東京都教育委員会により、都内の公立小・中学校等の教員を対象とした「東京都公立学校教員勤務実態調査」の集計結果が公表されました。それによると、一日の正規教員の勤務時間は7時間45分（休憩1時間除く）ですが、平日一日当たりの在校時間は中学校と小学校ではいずれも11時間を超えており、副校長においては、いずれの職種においても12時間を超えています（休憩1時間含む）。1週間単位で見ると、小学校では適当なりの在校時間が60時間以上の教諭では、

特に、20代・30代の男性教諭の割合が高くなっています。中学校の教員と小・中学校の副校長は、授業以外がとて忙しい！

【中学校教員の場合】在校時間が適当なりの60時間以上の教諭は、主に「部活動・クラブ活動」「成績処理」「学年・学級経営」に関わる時間が多くなっています。特に、20代・30代の男性教諭及び20代の女性教諭の割合が高くなっています。

【小・中学校副校長の場合】小学校では在校時間が適当なりの60時間以上の副校長は、主に「保護者対応」「その他（事務作業等）」「行政機関対応」に関わる時間が多く、中学校で在校時間が適当なりの60時間以上の副校長は、主に「その他（事務作業等）」「調査」「学

## 市立中学校A教諭の一日

- ### A教諭プロフィール
- 教員歴30年
  - 専科は保健体育
  - 第2学年の担任
  - サッカー部・野球部・陸上部の顧問

5：30 今日は月曜日。いつもより早めに起きる。朝食を摂って出勤。  
7：00 学校に到着。体育の授業の格好に着替えて校庭へ。移動式のスプリンクラーで、体育の授業前に散水。このところ雨が降らず、砂埃がひどい。

7：15 スプリンクラーを始動させてから、校舎3階の2年生の教室に行く。各教室の窓を開けながら教室の中を見回り、室温の確認をする。空調もいいが、今の時間帯は自然の風が気持ちいい。

7：30 校庭に戻る。スプリンクラーが止まっていることを確認する。授業に必要なラインが引けているか、用具が揃っているかの確認に倉庫へ行く。

7：45 職員室に戻る。授業と行事等のプリントを作成する。東京都とスポーツ庁がそれぞれ行った児童・生徒の体力と運動能力・運動習慣の調査結果を見る。都の結果だと、中学2年生全般が全国よりもボール投げの結果が下回っている。本校の生徒もおしなべて苦手だ。全国の調査では、保健体育の授業が好きかどうかの問いがある。女子も男子も8割以上が楽しいと思っている結果が出ている。また、「保健体育の授業で学習している内容が将来役に立つと思うか」の問いには、概ね女子も男子も7割以上が「思う」と答えている。いいね。

8：10 校長室に行き、本日の予定と全校朝礼の確認をする。生活指導上の注意などの打ち合わせを学年主任を交えて行う。

8：25 担任を持つ教室で学級指導を行う。全校朝礼がある場合は全体指導を行うときもある。休日明けであり、生徒一人ひとりの顔色を見る。全員元気そうだ。

8：45 1校時目。学級活動。今日は間近に迫った離任式に渡すお別れの手紙書きの指導をする。この時間で全員分が完成した。

9：45～、10：45～ 2校時目と3校時目。いずれも2年生の体育の授業。200m走のタイム測定。

11：45 校内の会議室で校長、副校長と教員による企画会議を行う。案件は来月に行われる運動会とセーフティ教室、月ごとの予定の確認。

12：35 教室に戻り、給食の指導をしながら自分も食べる（約20分間）。

13：00 昼休み。生徒から相談を受け、教室前の廊下で指導を行う。保護者から電話があった伝言を受け、昼休み中に電話をかける。あっという間に5校時の時間。

13：25 5校時目。職員室に戻り、文科省へ提出する調査票を作成。途中、若手教諭から授業の進め方について相談を受ける。自分が教員になりたての頃を思い出す。よく副校長や先輩の教員には相談にのってもらったな…。

14：25 6校時目。引き続き、職員室で、サッカーの地域ブロック別専門委員会の決算報告書等を作成。

15：20 教室に行き、清掃活動を生徒と一緒にやる。部活動に入っていない生徒たちは帰宅。

16：00 会議室で学年会議を行う。生徒の情報交換や学年離任式の進め方の確認をする。

17：00 再び書類の作成。中体連支部理事として本部に提出する部活動関係の書類を作成。その後、部活動の様子を見に行き、指導を行う。短時間に効率よく生徒たちの上達を図りたい。

18：30 部活動が終了し、生徒たちの下校を見届ける。保護者からの相談の電話が入り、対応する。

19：00 退勤。まだ残っている教員もいる。「何か手伝おうか」、互いに声を掛け合う。仕事はなるべく持って帰らないようにしている。体育の授業は天気の影響を受けるので気になる。校庭の状況を見ながら帰宅する。



少しでも時間がとれば、教材研究や資料の確認をします。



今日は打ち合わせが多い。気持ち的にはこんな感じ！



明日もスプリンクラーの散水から一日が始まります。

【小・中学校副校長の場合】小学校では在校時間が適当なりの60時間以上の副校長は、主に「保護者対応」「その他（事務作業等）」「行政機関対応」に関わる時間が多く、中学校で在校時間が適当なりの60時間以上の副校長は、主に「その他（事務作業等）」「調査」「学

勤務状況はどうなのか？  
市立中学校のA教諭の、あ一日のスケジュールを追いました。この日の在校時間は12時間。都の平均を超えています。授業以外にも、生徒の登校前に整えておきたいことなどのさまざまな準備があり、学校には、概ね7時には出勤しているそうです。生徒が登校し、始業チャイムが鳴ると、一日がスタートします。始業前の職員室での打ち合わせ、学級担任としての対応、授業、各種会議、教員間の調整、校長・副校長との打ち合わせ、保護者対応など、授業に関わる以外のことがと

ても多いことに驚かされま。教員歴30年ともなると、既にこの多忙さに慣れてしまつたところもあります。自分のスケジュールを書き出してみ、一日の半分も学校にいないかと再確認しました。働き方改革と言われ始めて、自分や他の教員の仕事ぶり、多忙さにも目を向けるようになってきたという感じですがA教諭、あっという間に、生徒たちが帰宅する15時を過ぎます。教材や授業準備に充てたいけれど、ふと時計を見れば既に18時を過ぎています。しかし、ここさえも保護者からの問い合わせや相談、書類の作成などに充てなければならぬことがあります。授業の準備

備や教材研究は当然必要です。から、この時間を確保するには、これ以降または自宅に帰ってからの作業となつてしまっています。

モデルとなった日は中学校の教諭の一例で、たまたまこういう状況ということもありますが、小学校の教員も多忙極まる時間配分の中で職務を行っていると思われま。

### 着実にできることから取り組んでいきます

平成30年10月、市教育委員会では「東久留米市立学校教員の働き方改革実施計画」を策定しました。教員の心身の健康増進に努めるとともに、自らの専門性を高めるための時間を確保することを目的に、勤務環境の整備を行います。令和元年度に行う取り組みは、次のとおり（2面に続く）

- ①ICレコーダーによる教職員の出退勤管理…2学期から稼働予定▽教員の勤務時間が週60時間を超えた場合は当該校の校長から事情聴取、改善策の提示を求める▽市立学校職員出勤簿整理規程の見直し▽市立学校の教師の勤務時間の上限に関する方針等」の策定に向けた検討 ②8月の第3週に連続した学校閉庁日」の設定（8月13日～16日） ③音声応答装置の導入…2学期から導入し、小学校は平日18時以降、中学校は18時30分以降の設定。3学期には全

※本文では小・中学校等で正規採用職員として働く人を「教諭」、小・中学校等で児童・生徒を指導する立場にある人全般または複数の教諭を表すものとして「教員」の文言を使っています。

今号の主な内容 1面（特集）市立学校の働き方改革 2面 学力の定着状況の結果 3面 学校の特色ある取り組み 4面 東久留米の学校史